

中小企業・IT産業振興委員会

中小企業・IT産業振興委員会では、JIRAを活用した会員中小・IT企業の課題解決を図る事を目的とし、JIRAの活性化に向けた事業展開を行う。また、新規入会会員の多くがIT関連の中小企業であることから、IT関連企業への働きかけを積極的に行う。

委員会として、新規事業の実施を通しJIRA会員企業に中小企業・IT産業振興委員会の内容を理解してもらい、より多くの会員に委員会参加を促す。

目的達成のため5つの専門委員会(IT産業専門委員会、事業経営専門委員会、学術専門委員会、教育・研修専門委員会、地域育成専門委員会)を設置し、必要があれば専門委員会の中に小委員会を置き事業を推進する。

1. IT産業専門委員会

「保健医療分野におけるICT活用推進懇談会」では、「ビッグデータ活用やAIによる分析」、「ICTを活用した遠隔診療や見守り」、「地域や全国の健康・医療・介護情報ネットワーク」及び「ビッグデータ活用によるイノベーション」が取り上げられている。2017年度JIRA-IT特区勉強会ではICTを活用する上でAIによるビッグデータ処理に繋ぐIoTをテーマに定め、医用画像システム部会企画の最先端技術紹介の第1回に対し、本委員会が企画した第2回では経産省IoT政策、米国での事例及びIoTセキュリティガイドラインを取り上げた。

ICTは医療業界のみならず全ての業界にとって益々重要となっており、2018年度も引き続き上記医療ICTの中で中小企業、IT企業の関心が高くホットな話題をテーマに選定し、医用画像システム部会と共同でIT特区勉強会を開催する。

- ・開催時期(予定) 第1回:2018年9月、第2回:2019年1月

2. 事業経営専門委員会

2018年度は昨年度に続き、海外展開支援に重点を置く。

国内市場の伸び悩みの中、中小企業も海外展開による事業展開を迫られているが海外進出に関しては、市場動向の把握、現地での法規制のクリア等ハードルは高く、中々実行できていないのが現状である。会員企業の海外展開の支援となる情報の収集、分析を行い、施策を企画立案し実施する。

3. 学術専門委員会

引き続き、日本放射線技術学会(JSRT)との連携を主体に事業を推進する。2018年度の事業計画としても、これまでの活動を継続する。

- (1) 第74回JSRT総会学術大会 [2018年4月12日～15日、パシフィコ横浜]
 - ・JIRAワークショップ(JSRT共催):臨床研究法をテーマとして実施予定
- (2) 第72回JSRT東京支部春期学術大会 [2018年5月19日首都大学東京荒川キャンパス]
 - ・関連学セッション:核医学関連をテーマとして実施予定
- (3) JSRT東京支部施設見学会 [2018年6月頃]
 - JIRA会員企業の見学を予定
 - ※ 中小企業・IT産業振興委員会、学術専門委員会からの自主参加で対応する。
- (4) 第46回JSRT秋季学術大会 [2018年10月4日～6日、仙台国際センター]
 - JIRA発表会、JIRAワークショップ、JSRT-JIRAジョイントミーティングを開催予定
- (5) 第36回JSRT東京支部秋期学術大会 [2018年11月頃](関東支部・東京支部合同開催(大宮ソニックシティ))
 - 関連学セッションを実施予定
- (6) JIRAトピックス寄稿 [毎月]
 - JSRT学会誌への寄稿に対する原稿募集を行う。
- (7) JIRAテクニカルレポートの活用 [春、秋]
 - JSRT各支部への配布による有効活用

4. 教育・研修専門委員会

各部会・委員会と連携しながら、定期的な研修会、タイムリーな研修会を計画する。

- (1) 2018 年 4 月 15 日(日)、ITEM2018 研修会(出展各社のご協力をいただき実施)
- (2) 2018 年 6 月 7 日(木)、JIRA 活動報告会(共催:地域育成専門委員会 東ブロック)
- (3) 2018 年 12 月、JIRA 画像医療システム産業研究会
- (4) 2018 年年度内、JIRA 研修会(テーマ:放射線漏えい線量測定の JIS 化について)
MRC、教育・研修専門委員会、地域育成専門委員会共催

5. 地域育成専門委員会

- (1) JIRA 会員企業への委員会への登録参加を呼びかけ、参加会員企業を拡大する。
特に、関西地域での会員企業の登録参加を拡大する。
- (2) 研修会・講演会など
 - ・東ブロック・西ブロックにて、各々年 1~2 回程度企画する。
 - ・テーマ案として、①医療機器・医療技術の知識・動向、②薬機法などに関する医療行政の動向
 - ・医療関係の施設見学会を、年度内に 1~2 回程度企画し、参加者を募る。
 - ・各ブロック主催の行事は他ブロックも参加・協力し、JIRA 全体にも広く呼びかける。
 - ・教育・研修専門委員会とも協力・連携して開催する。
 - ・各ブロックにて好評だった研修会などは、他ブロックでも開催し、情報共有を図る。